**Safety 2.0適合審査申請書（新規）**

　　　　年　　月　　日

日本認証株式会社　御中

申請組織名

代表者役職・氏名 　　　　　印

Safety 2.0適合審査を下記の通り申請します。

1. **申請組織及び申請窓口**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請組織名 |  | |
| 申請組織住所 |  | |
| 申請組織の業種 |  | |
|  | 申請責任者 | 申請担当者 (連絡先) |
| ﾌﾘｶﾞﾅ |  |  |
| 氏名 |  |  |
| 所属 |  |  |
| 役職 |  |  |
| e-mail |  |  |
| TEL |  |  |

1. **申請内容 (適合登録証明書記載およびIGSAPホームページ掲載事項)**

|  |  |
| --- | --- |
| 受審組織名 |  |
| 受審組織住所 |  |
| 申請対象の名称 |  |
| 申請スコープ |  |
| 申請対象の機能\*1 |  |
| スキル保有者活用 | なし　　　あり (保有者名：　　　　　　　　) |
| 組織HPのURL |  |

**＊1 申請対象の機能について記載いただきたい内容**

1. 現状の安全に関する課題とSafety2.0構築・運用による改善点
2. 貴社の安全システムにSafety2.0が適用される意図

**＊2 スキル保有者活用とは**

申請されたシステムに関する豊富な知見とSafety 2.0の要求事項に関しての知識を有している人材により承認された自己評価報告書を本審査に活用する制度です

**3　審査書類例 (以下の文書等が審査に必要となります)**

|  |  |
| --- | --- |
| □ | Safety 2.0による保護方策を実施するシステムの構成とコンポーネントの特定  例：Safety2.0を構成する主要コンポーネントの技術仕様書 |
| □ | 人と機械と環境とが、相互に交換しリスク低減に有効となる情報と内容及びその利用方法 |
| □ | Safety 2.0によるリスク低減の妥当性（例：Safety 2.0適用前後のリスクアセスメントの結果、残留リスクの内容及び残留リスクへの対処方法 |
| □ | Safety 2.0による機能の持続性を確保し、継続的改善を推進するため、技術開発・設計、インテグレーション、稼働・運用、に関するルールや仕組み |